

北海道岩見沢市（所在地：北海道岩見沢市）

事業名

アートアカデミーの開催による障がい者の生涯学習推進事業

主な連携先

市福祉課、市生涯学習・文化・スポーツ振興課、北海道教育大学岩見沢校、北海道アールブリュットネットワーク協議会（ほか）

主な対象

身体・知的・精神

事業の趣旨・目的

- ・学校卒業後の障がい者が芸術の鑑賞、創作について学ぶ
- ・北海道教育大学岩見沢校の教員や学生と共同で事業実施
- ・芸術を教わる側から教える側になることで、地域社会の中で役割を持ち、自尊心をもって自分らしく暮らせる社会の実現を目指す

事業実施体制

<連携協議会構成>

市福祉課・教育委員会、教育大学岩見沢校、北海道アールブリュットネットワーク協議会、市内アート展実行委員長、北海道社会福祉事業団福祉村、障がい当事者

学習プログラムの内容

- ①創作体験・創作学習会
様々な画材を使った創作体験会で画材や画法、創作技術を学ぶ
- ②創作ワークショップ
障がい当事者が講師となり、参加者が同じテーマで作品を創作
- ③芸術鑑賞会
参加者がワークショップで創作した作品に込めた思いなどを語り、お互いの作品を鑑賞、中心市街地のギャラリーで作品を鑑賞
- ④展示技術・実践学習会
額装等を学習し、創作した作品の展示会を開催

研究の成果と課題

<参加者数>

リアル会場 33名

<アンケート結果>

- ・高いレベルの勉強ができるように場所とか機会を増やしたらよい
- ・（障がい者が学びを深めるためには）人とのふれあいが必要
- ・単会でもこのような機会があればいい
- ・特に絵が好きです。学べる機会がもっと多くあればいいと思う。
- ・一般向けのイベントでも要望に応じて手話通訳を配置するなど合理的配慮により障がい者を排除しない工夫があればいい



創作体験の様子



障がい当事者による創作WS



展示会の様子

その他研究の詳細など

- ・コロナ禍に対応したプログラムをさらに研究（出前講座の開催等）
- ・障がい者を雇用する企業の生涯学習への理解促進も必要
- ➡本アカデミーの様子がわかるように映像を作成し、市HPに掲載
- 関係者のネットワークの強化、継続的な学びの機会を創出することで引き続き障がい者の生涯学習を支援

市HP→

